



「みなさんは、日々の暮らしの中に気の合う仲間やお友達がいますか？」

5年後、10年後に向けて「住みやすい、住んでいてよかった。」と思える人と人との「つながりのある地域」をめざし「地域のお宝」としてご紹介していきます。

取材先

生品地区

どんど焼き



育美会（生品保育園、生品もみの木学童）では、21年前からどんど焼きを行っています。

子どもたちが地域の方と一緒に参加できる伝統行事を行いたいとの思いから始まりました。

コロナの影響で田んぼでの開催は3年ぶりとなりましたが、令和5年1月14日（土）に約540人が参加して、賑やかに行われました。今年から認定こども園「生品の風」も参加しました。

枝や薪などの材料は冬休みや放課後の時間を使って学童の5・6年生と職員が地域を回り、住民の方からいただいて準備したものです。

当日は大勢の参加者が力を合わせて2つの大きな塚（大人塚、子ども塚）を作りました。

正月飾りやだるまなども地域の方から預かり、参加者で分別。不燃物を除去して、塚に飾ってお焚き上げし、家内安全、無病息災、五穀豊穰などを願いました。

どんど焼きは、太田市の1%まちづくり事業を活用して行われました。



栗原 志津恵 園長

子どもの目に見えない、いのちなどの大切さを感じられる文化（神事）に触れることは、子どもたちの気持ちの中に生き続けると感じています。



# 地域のお宝発見 ～太田市生活支援体制整備事業～



大人塚は保護者が、子ども塚は学童の6年生が点火します。松明を持ち、塚に挿入。パチパチと大きな音を立てて炎が上がり、囲みながら見守る参加者から歓声が上がりました。火が小さくなってきたらスルメをあぶり、参加者に振る舞われました。



くりばら あつし

**栗原 惇 先生 育美会職員**

どんど焼きを通して地域の方との交流や伝統文化を子どもたちに伝えることができます。

また、子どもの頃に参加していた人が保護者として子どもと一緒に参加していたり、縦のつながりを感じています。

今の子どもたちが大人になっても来られるような伝統行事をこれからも続けていきたいと思えます。

わたなべ たかとし

**渡邊 貴俊さん もみの木学童保護者会長**

3年ぶりに学童、保育園、地域とでようやく集まることができました。

せっかく縦のつながりがあるのに、コロナで少し切れてしまったと思っていましたが、開催することができて良かったです。

さとか

**聡香さん 5年生**

学童の5・6年生で塚の材料を準備しました。竹の小さい枝や葉をナタで取りましたが、力がいるので大変でした。

しむら ひでき

**清村 英樹さん 生品保育園保護者会長**

長いコロナ禍ですが、開催することができて良かったと思います。場所を提供してくれる地域住民の方、開催を許可してくれる太田市にも感謝しています。

真剣に取り組む姿を子どもたちに見せたいと、参加している大人たちも張り切って楽しんでいます。

## ☆チェックポイント☆

地域に根付いた伝統行事に、たくさんの人の気持ちがつながり、大きな力となっていました。気持ちを合わせて塚を作り、材料を運び、大人も子どもも、それぞれの役割に真剣に向かい合い、楽しんでいました。

お宝情報を募集中！「私の近所でこんな取り組みをしている」「こんな工夫をして気にかけている」など、あなたの地域のつながりを教えてください。情報をお持ちの方は右記お問い合わせまでお願いします！



詳しくはこちら

お問い合わせ

太田市社会福祉協議会 地域福祉係

〒373-0817 群馬県太田市飯塚町1549

TEL 0276-46-6208 FAX 0276-46-6229